

## 物質化学工学科5年 森岡 俊文

まず卒業にあたり、5年間の長い期間にわたって御指導いただいた先生方には、本来であれば個別で御礼をお伝えしなければならぬのですが、この場を借りて深く御礼申し上げます。

卒業を間近とする今、購買の前の大きな桜木を見てみると、5年前にこの桜木の前でクラス写真を撮ったことが、まるで昨日のこのように思い浮かびます。部活で夜遅くまで残ったあの日、実験レポートで教室と図書館を走って行き来したあの日、心が砕けそうになったあの日…。5年前から今日まで、この桜木はそんな私を高いところからずっと見下ろしていました。この桜木の前を通る度に心が晴れたのは、何にも動かないこの桜木の大きすぎる存在感に安心していたのかもしれない。そして、私はこの桜木と自身を重ね合わせるようになりました。

我が儘な私を支えてくれた仲間は、いくつもの支木から見事に咲く桜のようで、時にはその重さが不安になり、振り落そうとする時もありましたが、今でも心の底から感謝しています。先生方からも、私たちがこれからの人生において大きく成長するように、しっかりとした土台を作っていただきました。

私にとってのこの5年間という



月日は考えさせられることばかりで、初めて仲間の死に直面して改めて命の儚さと自分の無力さを痛感しました。しかし、このような高専での経験がこれからの人生においてきっと生かされることでしょう。大学に進学して知識を深めようとする者、一足先に社会人となり自立への道を歩み始める者、それぞれの想いは異なりますがそこで待ち受ける困難にも私たちなら立ち向かい、前を向いて歩んでいけると信じています。

最後に後輩の皆さん、奈良県の県花である八重桜の花言葉は「豊かな教養・善良な教育・理知に富んだ教育」です。この学び舎には優秀な先生方と、これを可能にさせるスタッフの方々が沢山おられます。皆様が各々の夢に向かって歩み、この学び舎で桜のような綺麗な花を咲かせることを陰ながら応援します。

## 修了にあたって

### 機械制御工学専攻2年 今井 雅之

専攻科の2年間は本科の5年間と比べ、研究や専門的な授業が凝縮されており、より一層充実した日々を過ごすことができました。

そのため、研究活動を通して、先生方との関係も深くなり、先生方の専門知識の豊富さを改めて実感しました。また、進路の相談など研究以外の面でも、ご指導いただきました。

加えて、他専攻との合同授業や学外研修などで、専門分野の違う学生と交流する機会も多くなり、物のとらえ方が広がりました。？私は来春から就職しますが、この学校で学んだことを活かしていきたいです。

7年間も通った奈良高専での生活は、正直しんどかったです。しかし、先生方をはじめ、先輩や後輩、そして友人たちにとっても感謝しています。

### 電子情報工学専攻2年 福村 薫

早いもので専攻科に入学してから2年が経とうとしています。本当にあっという間でした。高専祭、研修旅行、大学院受験、国際会議への参加、海外交流派遣でトロント大学の学生に研究発表をするなどドタバタの2年間でしたが、非常に有意義に過ごすことが出来ました。専攻科で経験した楽しかった事、嬉しかった事、辛かった事の全てが、私にとっては宝物です。

また、一緒に勉強したり遊んだりした友達



ともしばらく会えなくなると考えると、とても寂しく感じます。これから社会人になる友達にも、大学院に進学する友達にも、辛い事がたくさん起こると思います。そんな時に専攻科での経験を武器にどんな障害も克服出来ると信じています。

このような充実した専攻科生活を支えて下さった指導教員だけでなく、私たちに関わって頂いた全ての学校関係者の皆様に感謝の意を表します。

### 化学工学専攻2年 北里 慎悟

7年間に及ぶ高専生活、そのうちの半分にあたる3年半は研究が常に学生生活の傍らにありました。と、表現しても過言ではないほど充実した研究を行うことができ、また国際学会での発表も叶いました。学部相当の年齢で高度な研究を行える専攻科の環境は、非常に恵まれていると言えるでしょう。さらには素晴らしい仲間たちも得られました。まあ、課題やテストには苦しみましたが…。後輩の皆さんには、この長いようで短い高専生活を無駄にせず、何か目標を持って有意義に過ごしていってもらえたらと思います。